2. 水産庁漁港漁場整備部「漁港漁場関係工事積算基準(令和5年度版)」の改定について 次頁以降に記載の内容について適用する。

| 掲 載 頁   | 現行(令和4年度)   | 改定(令和5年度)   | コメント                 |
|---|---|---|----------------------|
| 第1章 総則<br>1節 総則<br>P1-1-1                               | 3. <b>工事費算定通則</b> 歩掛は、「漁港漁場関係工事 <u>標準歩掛</u> 」その他の参考資料をもとに各事業主体において定めたものによるものとする。  | 3. 工事費算定通則<br>歩掛は、「漁港漁場関係工事積算基準に示す歩掛(標準歩掛)」その他の参考資料をもとに各事業主体にお<br>いて定めたものによるものとする。                                | 字句修正                 |
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>2節 海上地盤改良工<br>参考資料 — 2<br>P3-2-(5) | 参考資料-2 水中人力床掘 (土砂・砂レキ・岩盤)  1. 適用範囲 係貿施設等の水中床掘において、機械施工後の床掘や小規模の床掘を潜水士にて施工するものに適用する。  2. 施エフロー  「汚濁防止枠設置・撤去 (設置)  「洗濁防止枠設置・撤去 (設置)  「洗濁防止枠設置・減去 (設置)  「洗濁防止枠設置・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・洗濯・ | ***   *********************************   | 適用範囲の改定              |
|   | ●  ① 土質区分能力補正係数 ②施工規模区分能力係数  ■ 1 日当り床掘量の算定 ③ 測荷与区分能力係数  ■ 1 日当り床掘量 ● (代 価 表 の) 作 成  | <ul> <li>(方調防止枠設置・撤去(撤去)</li> <li>注)本項の歩掛は の部分である。</li> <li>3. 代価表作成手順         <ul> <li>・現場条件</li></ul></li></ul> | 能力算定式改定に伴う代価表作成手順の改定 |

| 掲 載 頁  | 現行(令和4年度)   | 改定(令和5年度)                  | コメント  |
|--|---|----------------------------|---|
| 第3章 直接工事費の施工歩掛 2節 海上地盤改良工 参考資料 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 4. 施工多様 1) 作業記の (1) 作業記述の (1) 作品記述の (1 | 4. 能工学計 1) (中央 3 位 四 作 上 月 | 施上、海<br>(陸上、<br>(加) 上、<br>(加) 上、<br>(加) 上、<br>(本) 2 日本<br>(本) 2 |
|  |   |                            |   |

#### 載 頁 現行(令和4年度) 改定(令和5年度) コメント 第3章 直接工事費の施工歩掛 参考資料 - 3 張りブロックエ 参考資料-3 張りブロックエ 4節 本体工 4.2 ブロック式 1. 適用範囲 1. 適用範囲 参考資料-3 本項は、船揚場の張りブロックの製作、転置、運搬、据付・仮置を行う工事に適用する。 本項は、船揚場の張りブロックの製作、転置、運搬、据付・仮置を行う工事に適用する。 P3-4.2-(4) 2. 張りブロック製作 「4節 本体工、 4.2 ブロック式、 2.本体ブロック製作工」を適用する。 「4節 本体工、 4.2 ブロック式、 2.本体ブロック製作工」を適用する。 3. 張りブロック据付 3. 張りブロック据付 張りブロック据付に含まれる代価表は、下表のとおりである。 張りブロック据付に含まれる代価表は、下表のとおりである。 種別(レベル3) 細別(レベル4) 積 算 要 素(レベル6) 種別(レベル3) 細別(レベル4) 積 算 要 素(レベル6) 張りブロック工 張りブロック据付 張りブロック転置 張りブロック転置 1日( 個) 当り 張りブロック工 張りブロック据付 張りブロック転置 張りブロック転置 1日( 個)当り 張りブロック据付(1 張りブロック横持ち 張りブロック横持ち 1日( 個)当り スイング)の追加 張りブロック据付 張りブロック据付 (1スイング)1月(個)当り張りブロック横持ち1日(個)当り 張りブロック運搬据付 張りブロック運搬据付・仮置 (1スイング) (陸上連携方式) (陸上連携方式) 1日( 個)当り 張りブロック横持ち 張りブロック運搬据付・仮置 張りブロック運搬据付 張りブロック運搬据付 張りブロック運搬据付・仮置 (海上一連方式) (海上一連方式) 1日( 個)当り (陸上連携方式) (陸上連携方式) 1日( 個)当り 張りブロック運搬据付・仮置 張りブロック運搬据付 (海上一連方式) (海上一連方式) 1日( 個)当り 3-1 施工方法 3-1-1 施工方式の概念図 3-1 施工方法 3-1-1 施工方式の概念図 張りブロッ 上 ク転置エ ク転置 陸 · ブロッ ク運搬据付工 海上据付 張りブロック運搬据付 横 連方式 持 込 搬 据 付(仮置) 運 陸上連携方式 海上一連方式 運 搬 据 付(仮置)

| 掲 載 頁                                       | 現行(令和4年度)   | 改定(令和5年度)  | コメント                                   |
|---|---|--|--|
| 第3章 直接工事費の施工歩掛4節 本体工 4.2 ブ資料 - 3 ア3-4.2-(5) | 第二  | 第  | 張りブロック据付 (1<br>スイング) の追加<br>作業船・機械組合せの |
|   | 4.5t以下     (油) 25 t吊     11t積       4.5t超え7.5t " (リ) 25 " 15 "       7.5t " 12.5t " (リ) 35 " 15 "       注) 現場条件により大型規格のものを使用することができる。 | 1-4-1 陸上作業」を適用する。 3-3-2 海上作業 「4節 本体工、4.2 ブロック式、3.本体ブロック据付工、3-1-4 作業船・機械の組合せ、3-1-4-2 海上作業」を適用する。 3-4 水中と陸上の工事区分 「4節 本体工、4.2 ブロック式、3.本体ブロック据付工、3-1-5 水中と陸上の工事区分」を適用する。 |  |

| 掲載頁  | 現行(令和4年度)   | 改定(令和5年度)   | コメント       |
|--|---|---|------------|
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料 - 3<br>P3-4.2-(5) | 3-3-2 海上作業       ブロック質量     転置、運搬、据付 (海上一連方式)       グレーン付台船     引 船       4.5t以下     45~50t品     鋼D450PS型       4.5t超え7.5t "     80 " " 500 "       7.5t " 12.5t "     100 " " 550 "       注) 現場条件により大型規格のものを使用することができる。       3-4 水中と陸上の工事区分 「4節 本体工、4・2 ブロック式、3・本体ブロック据付工、3-1-5 水中と陸上の工事区分」を適用する。 |   |            |
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料 — 3<br>P3-4.2-(6) | 3-5 張りブロック転置  | 3-5 張リプロック転置 3-5-1 佐機表作成手順  ・施工版分  ・歴リプロック質素  ①施工区分 ・規模条件  ・規模を作  ・ は、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、・ では、対象を表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表 | 代価表作成手順の追加 |

| 掲 載 頁  | 現行(令和4年度)   | 改定(令和5年度)  | コメント   |
|--|---|--|--|
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料 — 3<br>P3-4.2-(6) | 3-5-1 施工歩掛 1) 作業能力 (1) 転置能力算定式 N = 60   | 3-5-2 施工歩掛 1) 作業能力 (1) 転置能力算定式 N = 60                  | 番号の繰り下げ標準作業時間、能力係数の改定                                |
| 第3章 直接工事費の施工歩掛4節 本体工4.2 考資料-3 P3-4.2-(7)                           | 2) 労務編成     (単位:人または日)       名 称     玉掛・玉外のどちらも水木中の場合を表現・水中の場合を表現・水中の場合を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | 2) 労務編成       (単位:人または日)         名 称       玉掛・玉外のどちら も | 労務編成の改定<br>クレーン類の機種追加<br>ででは、<br>クレンエーの<br>が大士船規格の改定 |

| 掲 載 頁  | 現行(令和4年度)     | 改定(令和5年度)   | コメント                     |
|--|---------------|---|--------------------------|
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料-3 | 3-6張りブロック運搬据付 | 3-6       張りブロック運搬据付         3-6-1       張りブロック据付 (1スイング)         3-6-1-1       代価表作成手順   | 張りブロック据付 (1<br>スイング) の追加 |
| 麥方質科─3<br>P3-4.2-(8)                               |               | ・施工場所 → D施工区分 ( <u>)</u><br><u>施工区分の選定</u> → D施工区分 ( <u>)</u><br>( <u>)</u> |                          |
|  |               | ・張りブロック質量<br>①施工区分<br>・現場条件 → ②クレーン類の種類・規格<br>・現場条件 ③ (標準)運転時間  |                          |
|  |               | <ul><li>②起重機船等の船種・規格→ 引 船 規 格 の 決 定 →④引船の規格</li><li>よ</li></ul>   |                          |
|  |               | ①施工区分<br>・振りプロック質量<br>・ウインチ移動の有無<br>能力係数の選定<br>能力係数の選定<br>が カードのでは、   |                          |
|  |               | ⑤能力係数(据付)       →        1 個当り据付時間算定       →⑥1 個当り据付時間(Cm1)         よ   |                          |
|  |               | <ul><li>⑥1個当り据付時間(Cm1)</li><li>③クレーン類の</li><li>(標準)連転時間</li><li>据付個数の算定</li><li>→⑦1目当り施工量(N)</li></ul>  |                          |
|  |               | <u>・水中、陸上工事区分</u> <u>労務編成の選択</u> → <u>8労務編成</u>   |                          |
|  |               | <ul> <li>①1日当り施工量(N)</li> <li>①加工区分</li> <li>②クレーン類の種類・規格</li> <li>③ 労務編成</li> <li>・使用係数</li> </ul> 代価表の作成 1日(個)当り代価表 1日(個)当り代価表  |                          |
|  |               | 3-6-1-2 施工歩掛         1)作業能力         (1)据付能力算定式  |                          |
|  |               | N = - <u>60</u> × T (小数1位四捨五入)<br>N : 1 日当り施工量(個/日)   |                          |
|  |               | Cm: 1個当り据付時間(分/個)<br><u> </u>   |                          |
|  |               | b.: 標準作業時間(8.5分)<br>E.: 作業種類能力係数<br>E.: ブロック種類能力係数<br>E.: 施工区分能力係数<br>E.: ブロック質量能力係数  |                          |
|  |               | E <sub>5</sub> : ウインチ移動能力係数         係数区分       能力係数 摘 要   |                          |
|  |               | E1     張りブロック据付     4.00       E2     張りブロック     1.10       施工     陸上     0.90         E4     4.5t以下     0.50       E4     4.5 ~ 7.5t "     0.65       7.5 ~ 12.5t "     0.70   |                          |
|  |               | Ea 区 分 海 上 1.00<br>Ea 移 動 あ り 1.25  |                          |
|  |               | 注)ウインチによる移動距離は、概ね50mまでとする。なお、50mを超える場合は、<br>本節 3-6-4 張りブロック運搬据付(海上-連方式)」を適用する。  |                          |

| 掲 載 頁  | 現行(令和4年度)   | 改定(令和5年度)  | コメント                     |
|--|---|--|--------------------------|
| 掲載 頁<br>第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料 - 3<br>P3-4.2-(9) | 現行(令和4年度)   | 2) 労務編成       (単位:人または且)         金   | コメント 張りブロック据付(1 スイング)の追加 |
|  | 3-6-1 張りブロック横持ち 3-6-1-1 代価表作成手順  ・張りブロック質量 ・現場条件  ・現場条件  ・張りブロック質量 ・張りブロック質量 ・ 張りブロック質量  ・ 張りブロック質量に対係数(E₂) | <ul> <li>3 - 6 - 2 張りブロック横持ち 3 - 6 - 2 - 1 代価表作成手順</li> <li>・張りブロック質量 → クレーンの決定 → ①クレーンの機種・規格 ②クレーン標準運転時間</li> <li>・張りブロック質量 → 能力係数の選定</li> <li>・張りブロック質量 → 能力係数の選定</li> </ul>         | 番号繰り下げ字句追加               |
|  | ● 1 個当り仮置時間の算定 → ④ 1 個当り仮置時間(Cm <sub>1</sub> )  ● 4 1 個当り仮置時間(Cm <sub>1</sub> ) ②クレーン標準運転時間 → 仮置 個数の算定 → ⑤ 1 日当り施工量(N) ⑤ 1 日当り施工量(N) ⑥ 1 クレーンの規格 → 代価表の作成 →・張りブロック横持ち 1 日(個)当り代価表   | ③能力係数(仮置)  → 1個当り仮置時間の算定 →④1個当り仮置時間(Cm <sub>1</sub> )  ↓  ④1個当り仮置時間(Cm <sub>1</sub> ) ②クレーン標準運転時間  → 仮置個数の算定 →⑤1日当り施工量(N)  ↓  ⑤1日当り施工量(N) ①クレーンの機種・規格  → 代価表の作成 →・張りブロック横持ち 1日(個)当り代価表 |                          |

| 掲 載 頁  | 現行(令和4年度)  | 改定(令和5年度)  | コメント                      |
|--|--|--|---------------------------|
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料 - 3<br>P3-4.2-(9) | 3-6-1-2 施工歩掛         1)作業能力         (1)横持ち能力算定式         60         N=         Cm <sub>1</sub> N:1日当り施工量(個/日)         Cm <sub>1</sub> :1個当り仮置時間(分/個)         T:クレーン標準運転時間(h/日)         Cm <sub>1</sub> =b <sub>1</sub> ×E <sub>1</sub> ×E <sub>2</sub> ×E <sub>3</sub> ×E <sub>4</sub> ×E <sub>5</sub> (小数2位四捨五入)         b <sub>1</sub> :標準作業時間(10分)         E <sub>1</sub> :作業種類能力係数         E <sub>2</sub> :ブロック種類能力係数         E <sub>3</sub> :施工区分能力係数         E <sub>4</sub> :ブロック質量能力係数         E <sub>5</sub> :横持ち能力係数 | 3-6-2-2 施工歩掛  1) 作業能力 (1) 横持ち能力算定式  60  N=  (1) 横持ち能力算定式  Emi  N: 1日当り施工量(個/日)  Cmi: 1個当り仮置時間(分/個)  T: クレーン標準運転時間(h/日)  Cmi = bi×Ei×Ei×Ei×Ei×(小数2位四捨五入)  bi: 標準作業時間(8.5分)  Ei: 作業種類能力係数  E2: ブロック種類能力係数  E3: 施工区分能力係数  E4: ブロック質量能力係数  E4: ブロック質量能力係数  E5: 横持ち能力係数 | 番号の繰り下げ                   |
| 第3章 直接工事費の施工歩掛4節 本体工4.2 ブロック式参考資料-3 P3-4.2-(10)                    | 係数区分 能力係数 摘 要  | (係数区分 能力係数 簡 要 E, 仮 置 0.90   | 能力係数の改定 クレーン類の機種追加 とびエの追加 |

| 掲 載 頁   | 現行(令和4年度)  | 改定(令和5年度)  | コメント        |
|---|--|--|-------------|
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式                            | 3 - 6 - 2 張りブロック運搬据付(陸上連携方式)<br>3 - 6 - 2 - 1 代価表作成手順  | 3 - 6 - 3 張りブロック運搬据付(陸上連携方式)<br>3 - 6 - 3 - 1 代価表作成手順  | 番号の繰り下げ字句変更 |
| ***   | ・現場条件 ・ブロック質量  → クレーンの決定 →①クレーン機種及び規格 ②クレーン標準運転時間  ③能力係数(据付・仮置) ④能力係数(積込) ・作業種類 → 能力係数の選定 → C作業種類能力係数(E1)                                  | <ul> <li>・張りブロック質量</li> <li>・現場条件</li> <li>→①クレーンの決定</li> <li>②クレーン標準運転時間</li> </ul>   | 于彻炎史        |
|   | ・張りブロック質量  ブロック質量  ボロック質量  ボロック質量  ボエ区分能力係数 (E 2)  施工区分能力係数 (E 3)  ブロック質量能力係数 (E 4)  ③能力係数 (据付・仮置)  → 3 1 個当り据付・仮置時間 (C mi)  時間の算定         | ・作業種類 ・張りブロック質量  ・能 力 係 数 の 選 定  ②能力係数(据付・仮置) ④能力係数(積込)  作業種類能力係数(E₁) ブロック種類能力係数(E₂) 施工区分能力係数(E₃) ブロック質量能力係数(E₄)   |             |
|   | <ul> <li>⑤据付・仮置時間 (C mi)</li> <li>②クレーン標準運転時間</li> <li>・張りブロック質量</li> <li>→ 運搬車両の選定</li> <li>→ ⑦運搬車量機種及び規格</li> <li>⑧運搬車量標準運転時間</li> </ul> | ↓ ③能力係数(据付・仮置) → 1 個当り据付・仮置 →⑤1 個当り据付・仮置時間(Cm <sub>1</sub> ) 時間の算定   |             |
|   | ・張りブロック質量及び形状 → 積 載 個 数 の 算 定 → ⑨積載個数 (n <sub>0</sub> )<br>⑦運搬車量機種及び規格   | ↓     ⑤据付・仮置時間(Cm1) → 据付・仮置個数の算定   |             |
|   | ● ① 1 日当り施工数量 (N) ② 1 日当り施工数量 (N) ② 1 日 当り施工数量 (N) ② 1 日   | ・張りブロック質量 → 運搬車両の選定 → ⑦運搬車両の機種・規格<br>⑧運搬車両標準運転時間   |             |
|   | ・水中、陸上工事区分 → <u>労務編成の選択</u> →⑫労務編成・張りブロック質量 ↓  ⑥ 1 日当り施工数量(N)  | ・張りブロック質量・形状→<br>⑦運搬車両の機種・規格  【  |             |
|   | ① 1 日 9 加 2 数量 ( N ) ① 2 レーン機種及び規格 ① 運搬車両機種及び規格 ① 運搬車両所要台数 ( n ) ② 労務編成 ・供用係数 ・ 供用係数   | ④能力係数(積込) → 1個当り積込時間算定 →⑩1個当り積込時間(Cm2)  ■  |             |
|   | • 快用係数   | <ul> <li>⑥1日当り施工量(N)</li> <li>⑨積載個数(n₀)</li> <li>⑤据付・仮置時間(Cm₁)</li> <li>⑩積込時間(Cm₂)</li> <li>・往復平均運搬距離(d)</li> <li>⑧運搬車両標準運転時間</li> </ul> (事件) <ul> <li>○算定</li> <li>○算定</li> </ul> |             |
|   |  | <u> </u>   |             |
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料 - 3<br>P3-4.2-(11) |  | ◆ ・水中、陸上工事区分 → 労務編成の選択 → ②労務編成  ■  |             |
|   |  | ⑥ 1 日当り施工量(N)<br>① クレーンの機種・規格<br>⑦運搬車両の機種・規格<br>⑪運搬車両所要台数(n)<br>⑫労務編成<br>・供用係数   |             |

| 掲 載 頁  | 現行(令和4年度)  | 改定(令和5年度)   | コメント                      |
|--|--|---|---------------------------|
| 掲 載 貝<br>第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本 4.2 ブ は 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 | 3-6-2-2 施工参掛 (陸上連携方式) 1) 作業能力 (1) 標件・仮置能力算定方式 N= 80 × T1 (小数 1 位四捨五人) N: 1 日当り施工量 (個/日) T1 : 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2   | 3-6-3-2 施工步掛  1) 作業能力  (1) 個付・仮置能力算定式  (1) 個付・仮置能力算定式  (2) 下 : 2                | カスト<br>番号の繰り下げ<br>標準作業の改定 |
|  | C m2 = b i × E 1 × E 2 × E 3 × E 4       (小数 2 位四捨五入)         b i ・ 標準作業時間 (10分)         d : 往復平均運搬速度 (12km/h)         T 2 : 運搬車両標準運転時間 (h/目)         2) 労務編成         (単位:人または目)         名 称       医療・医外のどちらも 医療・医外のどちらから 性上(水上)の場合 水中の場合         管通作業員       4         潜水士船       -         1 | 陸上 (水上) の場合     水中の場合       とび工     2       普通作業員     3       潜 水 士 船     -   1 |                           |

| 掲 載 頁                                      | 現行(令和4年度)   | 改定(令和5年度)   | コメント                              |
|--|---|---|-----------------------------------|
| 第3章 直接工事費の施工歩掛4節 本体工4巻2 資料 一 3 ア3-4.2-(12) | 3)代価表 (1)張りブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式) 1日(個)当り 名 称 形 状 寸 法 単位 数 量 摘 要 ラフテレーンクレーン 日 1 据付・仮置用 標準運転時間 ラフテレーンクレーン " 1 積込用 標準運転時間 トレーラ又はトラック " 標準運転時間 潜水士船運転 D180PS型 3~5t吊 " 就業8 H 普通作業員   | 3)代価表 <ul> <li>(1)張りブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式) 1日( 個)当り</li> </ul> 名 称 形 状 寸 法 単位 数 量 摘 要 <ul> <li>ラフテレーンクレーン (油) t吊 日 1 標準運転時間</li> <li>ラフテレーンクレーン (油) t吊</li></ul>   | クレーン類の機種追加<br>とび工の追加<br>潜水士船規格の改定 |
|  | 3-6-3 張りブロック運搬据付 (海上一連方式)<br>3-6-3-1 代価表作成手順<br>・現場条件<br>・張りブロック質量<br>・クレーン付台船の在港状況 → クレーン付台船の決定 →①クレーン付台船船種及び規格<br>・クレーン付台船の在港状況 ↓ ↓ 引 船 規 格 の 決 定 →②引船規格  | 普通作業員<br>雑材料  3-6-4 張りブロック運搬据付(海上-連方式)<br>3-6-4-1 代価表作成手順 ・張りブロック質量 ・現場条件 ・起重機船等在港状況  ↓  ①起重機船等船種・規格 → 引船 規格 の決定 →②引船の規格  ↓   | 番号の繰り下げ字句変更                       |
|  | ・張りブロック質量及び形状 → 積 込 個 数 の 算 定 → ③最大積込個数 (N) ・   | ・張りブロック質量、形状 ①起重機船等船種・規格 → 積 込 個 数 の 算 定 → ③最大積込個数(N)  ・作業種類 ・張りブロック質量 → 能 カ 係 数 の 選 定  |                                   |
|  | <ul> <li>⑥積込時間 (Cm1)</li> <li>⑦据付・仮置時間 (Cm2)</li> <li>・往復平均えい航距離 (d)</li> <li>・往復平均えい航速度 (v)</li> <li>③最大積込個数 (N)</li> <li>⑧1日当り航海数 (n)</li> <li>⑥積込時間 (Cm1)</li> <li>⑦据付・仮置時間 (Cm2)</li> <li>⑨1日当り施工数量 (Nx)</li> </ul> <li>● 積込時間 (Cm2)</li> <li>⑨1日当り施工数量 (Nx)</li> | <ul> <li>④能力係数(据付・仮置) → 1 個当り据付・仮置 →⑦1個当り据付・仮置時間(Cm₂)</li> <li>⑥積込時間(Cm₁)</li> <li>⑦据付・仮置時間(Cm₂)</li> <li>・往復平均えい航距離(d) → 1日当り航海数の算定 →⑧1日当り航海数(n)</li> <li>③最大積込個数(N)</li> <li>⑧1日当り航海数(n)</li> <li>→ 1日当り施工量の算定 →⑨1日当り施工量(N₂)</li> </ul> |                                   |
|  | <ul> <li>* 1 日当り航海数(n)・往復平均えい航距離(d) → 引船運転時間の算定 →⑪引船運転時間・往復平均えい航速度(v)</li> <li>・水中、陸上の工事区分 → 労務編成 → ・張りブロック運搬据付・仮置 (海上一連方式) 1 日(個)当り代価表</li> </ul>  | ● 積込時間(Cm <sub>1</sub> ) ⑦据付・仮置時間(Cm <sub>2</sub> ) → 起重機船等運転時間 ⑨ 1 日当り施工量(N <sub>x</sub> ) → 起重機船等運転時間   |                                   |
|  | ③ 芳務編成·供用係数   | <ul> <li>⑨1日当り施工量(N<sub>x</sub>)</li> <li>①起重機船等船種・規格</li> <li>⑩起重機船等運転時間 →</li> <li>②引船の規格</li> <li>⑪引船運転時間</li> <li>⑪労務編成</li> <li>・供用係数</li> </ul> 代価表の作成 (海上一連方式) <ul> <li>1日(個)当り代価表</li> </ul>                                      |                                   |

| 掲載頁   | 現行(令和4年度)  | 改定(令和5年度)   | コメント           |
|---|--|---|----------------|
| 第3章<br>直接工事費の施工歩掛<br>4節 本体工<br>4.2 ブロック式<br>参考資料 - 3<br>P3-4.2-(13) | 3-6-3-2 施工歩掛(海上-連方式) 1)作業能力 (1)据付・仮置能力算定方式 Nx=N×n (小数1位四捨五入) Nx:1日当り施工量(個/日) N:2レーン付台船の最大積込個数(個) n:1日当り航海数(回/日)  (2) クレーン付台船の最大積込個数 クレーン付台船への最大積込個数は、下記のいずれか小さい個数を採用する。 ① { (最大積載質量) ÷ (張りブロック質量) } ×積載係数(0.8) (小数1位切捨て) ② { (積載可能面積) ÷ (張りブロック占有面積) } ×段数 (小数1位切捨て)   | 3-6-4-2 施工歩掛  1)作業能力 (1) 据付・仮置能力算定式   | 番号の繰り下げ        |
|   | (3) 1日当り航海数の算定  n =  | (3) 1日当り航海数の算定 $ n = \frac{Ts}{(Cm_1 + Cm_2)} + \frac{2 \times d}{t} + t $ (小数3位四捨五入) $ N \times \frac{60}{t} + \frac{2 \times d}{t} + t $ (小数3位四捨五入) $ Ts : 作業船の1日当り施工時間(6h/日)  Ts : 作業船の1日当り施工時間(6h/日)  N : 起車機船等の最大積込個数(個)  Cm : 1個当り海上積込時間(分/個)  Cm : 1個当り海上積込時間(分/個)  Cm : 1 個当り接近外係数  E1: ブロック種類能力係数  E2: ブロック質量能力係数  E2: ブロック質量能力係数  Cm2: 1 個当り据付・仮置時間(分/個)  Cm2: 1 個当り据付・仮置時間(分/個)  Cm2 = b   x E   x E   x E   x E   x E   x E   x E    d : 往復平均えい航距離(km)  v : 往復平均えい航速度(km/h)  船 舶 種 類 えい航速度 摘 要  クレーン付台船 または 起車機船(非航旋回)  t : 離接舷等の関連時間(0.58h)$ | 標準作業時間、能力係数の改定 |
|   | 係数区分 能力係数 摘要  E: <u>棟込・仮置</u> 0.90 <u>海上 据 付 1.20</u> E2 <u>能揚場張リブ・22</u> 1.10  E3 施工区分 海上 1.00  係数区分 <u>様力係数</u> 摘要  4.5t以下 9.49 1.09  E4 4.5~7.5t " 9.55 1.15  7.5~ 12.5t " 9.65 1.25  (4)作業船等の運転時間 ① クレーン付合船  T=Nx× (Cm <sub>1</sub> +Cm <sub>2</sub> ) 60  (小数1位切上げ、偶数止め) ② 引 船  T=n×( 2×d v + t) (小数1位切上げ、偶数止め) | (4) 作業船等の運転時間 ①クレーン付台船および起重機船(非航旋回)  T = N×× (Cm++Cm-2)  ( 本数区分 能力係数 摘要 4.5 t以下 0.50  | 注意書きの追加        |

| 掲 載 頁  | 現行(令和4年度)  | 改定(令和5年度)  | コメント   |
|--|--|--|--|
| 第3章 電接工事者の施工歩掛4節 4 4 5 2 4 7 2 4 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 3 7 | 2) 労務編成       (単位:人または日)         名称       玉掛・玉外のどちらも 下掛・玉外のどちらかが 下井・玉外のどちらも 水中の場合 本 水中の場合 水中の水中の水中の水中の水中の水中の水中の水中の水中の水中の水中の水中の水中の水 | 2) 労務編成       (単位:人または日)         名称       玉掛・玉外のどちらも 陸上(水上)の場合 水中の場合 水中の場合 水中の場合 水中の場合 水中の場合 水中の場合 水中の場合 水中の場合 水中の場合 (利力・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・               | 労務構成、人数の改定 クレーン類の機種追加<br>とび工の追加<br>潜水士船規格の改定 |
| 単-55<br>単-57   | 92. ハンマドリル<br>ハンマドリル (38mm) 運転1日当り       名称     形状寸法     単位     数量     摘要       損料     半運     転日     1       n     供用     n     1.55   | 93. ハンマドリル<br>ハンマドリル (38mm) 運転1日当り       名称     形状寸法     単位     数量     摘要       損料     運転日     1       リ     供用リ     1.56  | 建設機械損料改定による                                  |
|  | 97. 空気圧縮機 (滑り材工)       運転1日当り(陸上)         名称       形状寸法       単位       数量       所援式、スクリュー、エンジン排       摘要         主然料経油       単位       22   | 98. 空気圧縮機 (滑り材工)       空気圧縮機 (排出ガス対策型)     運転1日当り (陸上)       名称     形状寸法     単位     数量     団搬式、スクリュー、エンジン掛 病 要       主燃料軽油     22       賃料     日     1.56       注) 賃料は物価資料による。 | 建設機械損料改定によ                                   |